

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成29年度第2回武蔵村山市緑化審議会
開 催 日 時	平成29年12月18日（月） 午後2時00分 ～午後3時30分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：宮林 茂幸委員、大道 和彦委員、布田 傑委員 田中 博美委員、高橋 修一郎委員、森山 興宣委員 藤野 政彦委員、石塚 典久委員（出席者計8人） 欠席者：なし（欠席者計0人） 事務局：環境課長、環境課主査（公園緑地グループ）、 環境課主事（公園緑地グループ）
議 題	1 最優先検討項目について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：事務局が提示した3項目を、来年度以降検討する。 議題2：真如苑が行っている日産自動車村山工場跡地の緑化について、事務局が情報収集を行う。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ◎会長 ○委員 ●事務局	議題1 「最優先検討項目について」 ● 事務局として、武蔵村山市緑化審議会で優先して検討する第二次みどりの基本計画の検討項目は、次の3項目を提案したい。 (1)【項目名】3-①-4 社会情勢に対応した再整備 「生物多様性の保全に配慮した草刈り管理、生き物の生態を考慮した樹木等の植栽形態、管理について検討します」 (2)【項目名】3-①-7 みどりの基金の活用 「気軽に寄附ができる制度を検討します」 (3)【項目名】5-①-2 緑化イベントの継続的開催 「緑化や美化推進などに貢献したグループや個人への表彰制度を検討します」 次回以降の武蔵村山市緑化審議会で、委員の皆様には、1回の審議会につき、先ほど挙げた1項目の審議をお願いします。 また、事務局も次回以降の審議会の開催までに、この3項目の中から1項目ずつの実現に向けて、いかにすべきかを内部で検討し、情報収集に努めたい。それにより、委員の皆様が円滑な審議を進めることができるよう努めていく。 （質 疑） ○ 生物多様性の保全に配慮した草刈り管理について質問する。事務局として何か現時点での考えはあるのか。 ● 市内の公園施設の1か所に、生物多様性を実現できる環境を整えたい。具体的には、公園施設の一面に柵等を設置して、その中は草刈りを控えるようにしたい。また、当該施設内には日本固有の植物を植えることで、在来種の保護に努めたい。さらに、何らかの方法で昆虫類が生息しやすい環境を整えることにより、一種のビオトープ的な環境を整備したい。 ○ もし、実施するのなら、現況の調査をした上で変化を確認するやり方がよい。

○ 植栽マップを作成し、どのような植栽形態になっているかをきちんと調査する必要があるのではないか。それを環境課で把握していくのはどうだろうか。

1つの公園をモデル事業として、国や都に補助金をもらえるように調整してはどうか。環境学習公園整備モデル事業として、市だけが施設を作るのではなく、市民に協働して環境学習公園を作ろうと呼びかけることを検討してほしい。それにより、市民も公園に親しみが持てるのではないか。

三鷹市では、地域の公園を市民と作って、それを協働で管理した事例がある。武蔵村山市でも同様のモデル事業として、ビオトープ施設を市民と協働して作ってはどうか。

● 事務局としては、今回試験的にビオトープ施設を作って、成果を確認する方針である。それにより、市民に対しても生物多様性の理解が得られれば、市民と協働した公園施設整備も検討していきたい。

なお、施設の設置候補として雷塚公園を想定している。現在、雷塚公園には、国立感染症研究所村山庁舎の防犯防災対策の一環として防犯カメラを設置している。公園内にも防犯カメラ作動中と看板を設置している。そうした一面にビオトープ施設を設置し、昔ながらの草原を再現したい。

○ 市民によっては、草を生やすことにより、除草を要望する人もいるのではないか。また、本件は海道緑地保全地域の管理方法も参考にすると良い。

● 隣接する敷地の境界付近に施設を設置するわけではない。雷塚公園の内側に設置する予定である。そのため、全体的には丁寧に整備された公園として運営する。また、意見があったとおり、海道緑地保全地域の管理方法も参考にしたい。

◎ 次に、みどりの基金についても事務局の考えを説明してほしい。

● 項目にはみどりの基金と書いてあるが、既に類似内容の国土緑化推進機構が実施している緑の募金が存在する。本制度を、市の市報やホームページで広報等を行うことで、募金額の向上を目指す考えである。

◎ みどりの基金も重要である。少子高齢化によって、空き家空き地が出てきたら、問題の土地をみどりの基金を用いて購入する必要がある。そのような長期的な展望を持って対処した方がよい。

また、事務局が提示した、緑の募金の募金総額は、最近頭打ちになってきている。理由として、国が創設を推し進めている森林環境税や、都道府県独自の環境税等のような、同内容の集金制度が現れ始めたこと。次に、集められたお金が、どのように使われたかがわかりにくいことが挙げられる。留意してほしい。

● 参考にしたい。

◎ 最後に、緑化イベントの継続的開催についても事務局の考えを説明してほしい。

● 本件についても、国土交通省や、環境省にみどりの保護に関する各種の表彰制度が存在している。また、本市の公園・緑地等ボランティアの中には、公園の美化等に熱心に活動されている方々がいるので、こうした各種表彰制度に推薦できるよう働きかけることを提案していきたいと考えている。

(結論)

◎ 事務局が挙げた3つの検討項目を、今後検討していきたい。

	<p>議題2 「その他」 (質 疑)</p> <p>○ 現在真如苑が、日産自動車村山工場跡地に100年かけて森を作ろうとしている。現地は土壌が汚染されているので、それを安定させるため、いろいろな樹木を植えている。そして植栽の生態を調べている。あの広大な敷地に森を作ろうとしているので、その辺の情報を収集してはどうか。</p> <p>● 緑化の視点及び、環境の視点から情報提供を依頼することはできる。</p> <p>(結 論)</p> <p>◎ 事務局は情報を収集していただきたい。</p> <p>◎ その他について何か意見はあるか。</p> <p>○ 特にない。</p> <p>● 次回の武蔵村山市緑化審議会は会長と調整して、日時が決まり次第、委員の皆様へ通知したい。</p> <p>◎ 以上で武蔵村山市緑化審議会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">—以上—</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公 開 <span style="float: right;">傍聴者： <u>  0  </u>人</span></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非 公 開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開 示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/>非 開 示 (根拠法令等： )</p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>協働推進部 環境課 公園緑地グループ (内線：269)</p>
--------------	------------------------------------

(日本工業規格A列4番)